

# JPMグローバルマイスター

追加型投信／内外／株式

[ 販売用資料 | 2014.6 ]



JPMグローバルマイスター(以下、「当ファンド」または「ファンド」といいます。)は、国内外の株式を主な投資対象とし、また、その他の外貨建資産を保有することがありますので、株式市場、為替相場、その他の市場における価格の変動により、保有している株式等の円換算した価格が下落した場合、損失を被る恐れがあります。

※ファンドのリスクについての詳細は、中面の「ファンドの主なリスク」をご確認ください。

お申込み・目論見書の入手先は

 **池田泉州銀行**

商号：株式会社 池田泉州銀行  
登録金融機関 近畿財務局長(登金)第6号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

設定・運用は

**JPモルガン・アセット・マネジメント**

商号：JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第330号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会



## ファンドの3つの魅力

魅力  
1

### 世界の株式に投資

成長性があり、かつ株価が割安と判断される世界の企業の株式に投資を行います。

魅力  
2

### さまざまな投資環境を的確に捉えた機動的な運用

投資する企業の国や業種、時価総額にこだわらず、世界の大型株から中小型株までを投資対象とします。

魅力  
3

### J.P.モルガンの情報網と英知を結集した運用

世界に広がる「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループのネットワークを活用し、豊富な経験と実績を有する運用チームが運用を行います。

当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。投資先ファンドである世界の株式に投資する「グローバル株式ファンド」の組入比率を高位に保つとともに、円建ての公社債に投資する「マネーボール・ファンド」にも投資を行います。

本資料では、投資先ファンドである「JPモルガン・ファンズ・グローバル・アンコンストレインド・エクイティ・ファンド」および「JPMジャパン・マネーボール・ファンドF(適格機関投資家専用)」を「グローバル株式ファンド」および「マネーボール・ファンド」といい、またマネーボール・ファンドのマザーファンドである「JPMマネーボール・マザーファンド(適格機関投資家専用)」を「マネーボール・マザーファンド」といいます。

J.P.モルガンは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよびその各国子会社または関連会社のマーケティングネームです。

魅力  
1

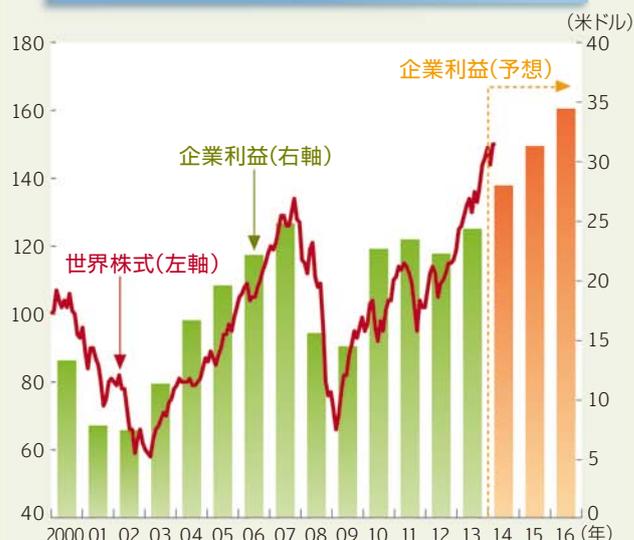
## 世界の株式に投資 — 今なぜ、世界株式か？

- 世界経済は、着実な改善・拡大の動きを見せ始めています。
- 世界景気の回復を背景に、企業業績は最高益更新が見込まれており、企業利益の拡大とともに、株価の上昇が期待されます。

世界の経済規模の変遷



世界株式のパフォーマンスと企業利益の推移



(左図)経済規模は名目GDP、2019年予想の経済規模は、2014年3月末の為替相場にて円換算 出所:IMF(2014年4月公表分)、ブルームバーグ

(右グラフ)2014年～2016年の企業利益はブルームバーグ集計のコンセンサス予想 株価の期間:2000年1月末～2014年3月末(2000年1月末を100として指数化) 世界株式:MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、現地通貨ベース) 企業利益:MSCI ACWIのEPS(1株あたり利益) 出所:ブルームバーグ

MSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス(以下、MSCI ACWI)は、先進国23カ国および新興国21カ国の2,434銘柄で構成され、世界の投資可能な市場時価総額の約85%をカバーする株価指数です。時価総額ベースにおける先進国と新興国の比率は、それぞれ約90%、約10%となっています。(2014年4月末現在 出所:MSCI Inc.、データストリーム)

上記は過去のデータおよび予想であり、将来の成果を保証するものではありません。

上記は2014年4月現在の「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。

魅力  
2

さまざまな投資環境を的確に捉えた機動的な運用



- 世界の株式市場は、経済・政治情勢や企業の業績動向等さまざまな要因によって大きく変化し、市場をリードする“主役”の国や業種が入れ替わります。
- 当ファンドは、投資対象企業の国、業種、時価総額の規模に枠を設けずに運用を行うことにより、投資収益の最大化を目指します。

国・地域

国・地域別にみる企業利益の成長率

主な国・地域別に企業の業績動向を見てみると、経済環境や景気サイクルの違いなどから、企業業績が好調な国や地域は、年によって大きく変わります。

各国・地域の企業利益\*の成長率

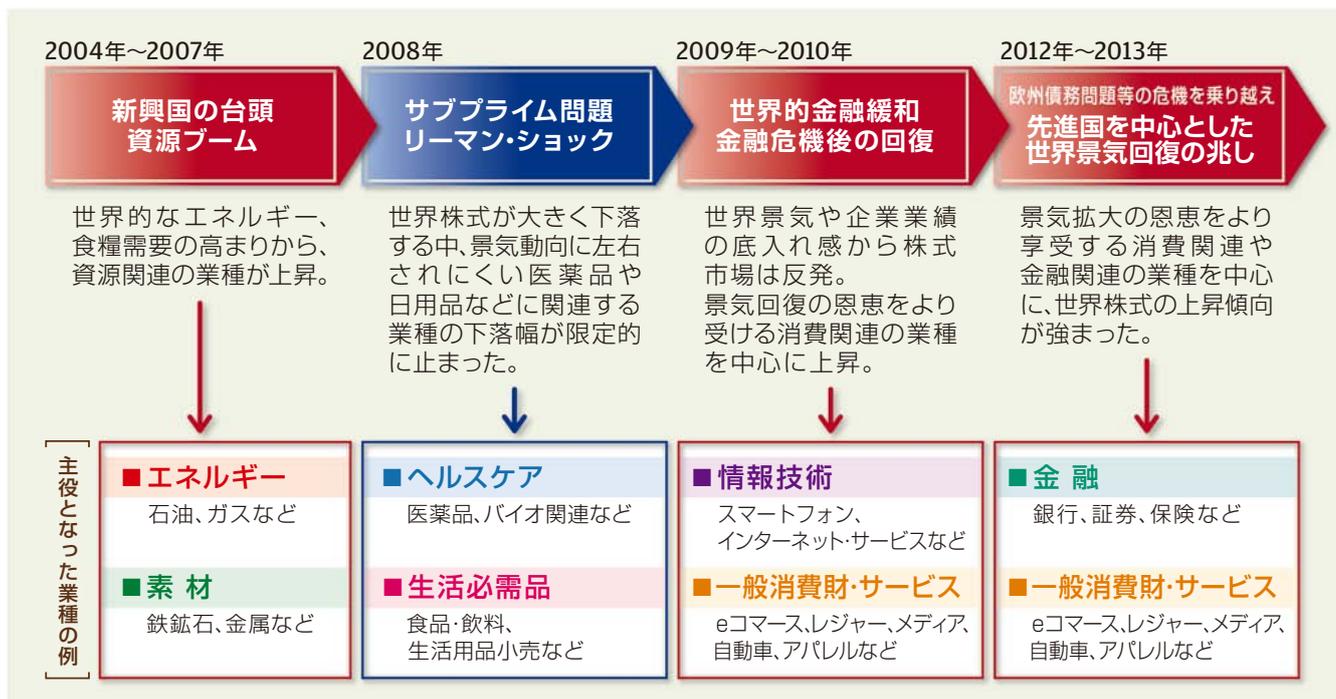


\*EPS(1株あたり利益) 2014年のEPSはブルームバーグ集計のコンセンサス予想 MSCIの各国・地域指数データを使用 出所:ブルームバーグ

業種

市場をリードする“主役の業種”の変化

世界の経済環境や市場トレンド等によって、株式市場における業種別にみた主役は大きく変化しています。



ブルームバーグ等各種資料をもとにJPモルガン・アセット・マネジメント(株)作成  
主役となった業種の例は、MSCI10セクター分類における期間中の年間騰落率(現地通貨ベース)の上位業種を記載しています。  
上記は過去の出来事および世界株式の値動きの傾向を示したものであり、すべての事象を網羅したものではありません。

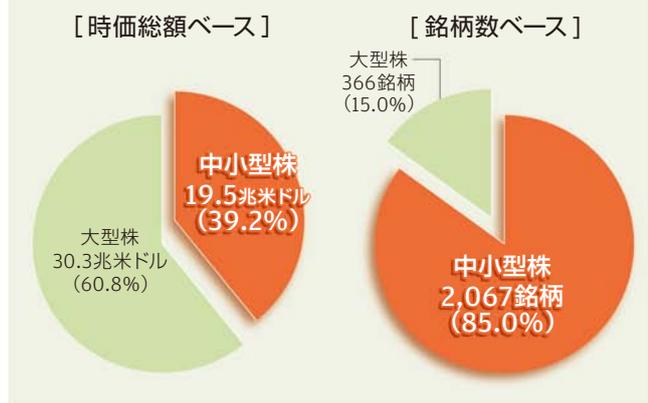
上記は過去のデータおよび予想であり、将来の成果を保証するものではありません。  
上記は2014年4月現在の「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。

## 時価総額

### 大型株だけでなく中小型株にも数多く存在する投資機会

世界の株式市場における企業の規模を見てみると、銘柄数では8割以上を中小型株が占めています。中小型株の企業利益は、市場全体と比較して高い成長が予想されています。

世界の株式市場における企業の規模別分布



世界株式における企業利益\*の推移



(左グラフ)2014年3月末現在 MSCI ACWI構成銘柄のうち、時価総額300億米ドル未満を中小型株、300億米ドル以上を大型株としています。出所:FactSet  
(右グラフ)\*EPS(1株あたり利益) 2013年を100として指数化(2014年以降のEPSはブルームバーグ集計のコンセンサス予想) 市場全体:MSCI ACWI、中小型株:MSCI ACWI中小型株インデックス 出所:ブルームバーグ

## 魅力 3

### J.P.モルガンの情報網と英知を結集した運用

- 「豊富な経験と実績を有するグローバル株式チーム」と、「深い知識と高い分析力をもつアナリスト」が、世界の投資環境やトレンドを的確に捉えて投資アイデアを発掘し、確信度の高い銘柄に投資を行います。

(投資アイデアの発掘から投資までの流れ)

#### ステップ1 投資対象銘柄の候補の選出 ~投資アイデアの発掘~



- 過去の経験則やグローバルに広がる情報網等を活用し、高い成長が予測される新しい製品やサービスなどの投資アイデアを発掘します。
- 投資アイデアに基づき、①数値データを用いた企業や株価の成長性を測る分析(定量分析)、②現地に密着した企業取材等による業界動向や企業の戦略等の数値化できない事象の分析(定性分析)を行います。
- 上記分析に基づき銘柄評価を行い、投資対象銘柄の候補を選出します。

#### ステップ2 投資対象銘柄の決定 ~意見交換・アイデアの有効性確認~



- 運用チーム内で意見交換を行い、発掘した投資アイデアの有効性を確認するとともに、投資対象銘柄の候補について、成長性があり、かつ割安と判断される銘柄をさらに絞り込みます。
- また、ステップ1で候補として選出されなかった銘柄や、意見交換の中で新たに生み出されたアイデアに対して、再度、企業取材・分析による評価を行い、これらの銘柄も加え、投資対象銘柄を選定します。

#### ステップ3 組入銘柄・比率の決定 ~発掘銘柄への投資決定~

- ステップ2の投資対象銘柄から、市場環境、リスク特性など総合的な判断を行い、組入銘柄と組入比率を決定します。

※「企業取材」とは、企業訪問、企業来訪、電話取材等を通じて、企業等の情報を得ることをいいます。

上記は過去のデータおよび予想であり、将来の成果を保証するものではありません。  
上記は2014年4月現在の「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。



## 世界にはさまざまなタイプの企業が存在

世界の企業には、ビジネスの種類や事業を展開する国・地域などの違いによって、さまざまなタイプがあります。また、顧客ニーズの多様化、高度化に伴い、日本ではあまり見られないサービスの提供を行う企業もあります。

さまざまな国・地域で  
広くビジネスを展開する

### グローバル企業

#### ネスレ

コーヒーの「ネスカフェ」、お菓子の「キットカット」等、世界的に親しまれているブランドを数多く持つスイスの企業。



#### マイクロソフト

米国に本社を置く、世界最大級のコンピューターソフトウェア会社。

各国・地域の地で高い  
シェアを誇る

### ローカル企業

#### SMインベストメンツ

国内最大規模のショッピングモールを経営するフィリピンの企業。

#### チボトレ・メキシカン・グリル

メキシコ料理のカジュアルレストランを全米で展開する米国企業。



日本にはない  
タイプの企業

### ニュービジネス特化型企业

#### ペットスマート

(ペット向け総合サービス)

ペット用品のオンライン販売を行う他、しつけ・訓練教室、ペットホテル、グルーミングサービスなども展開する米国のペット向け総合サービス企業。

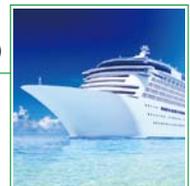


#### フラポート (空港運営会社)

航空機の地上交通管理、施設・ターミナルの運営・管理、警備などを行うドイツの企業。

#### ロイヤル・カリビアン・ インターナショナル (クルーズ運営)

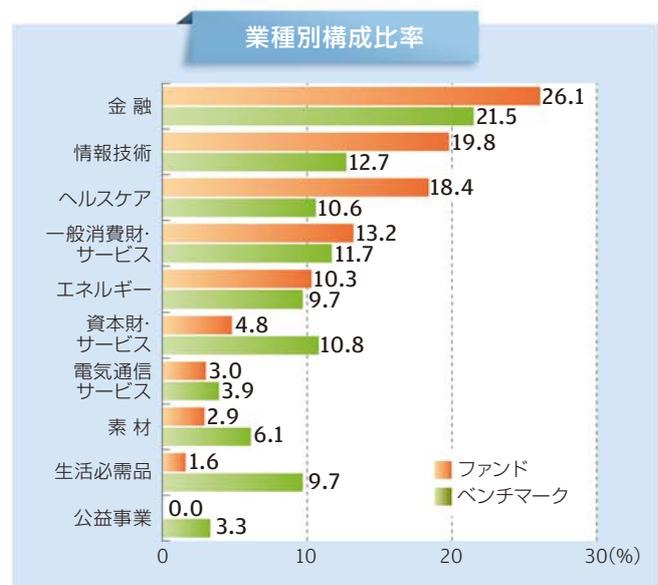
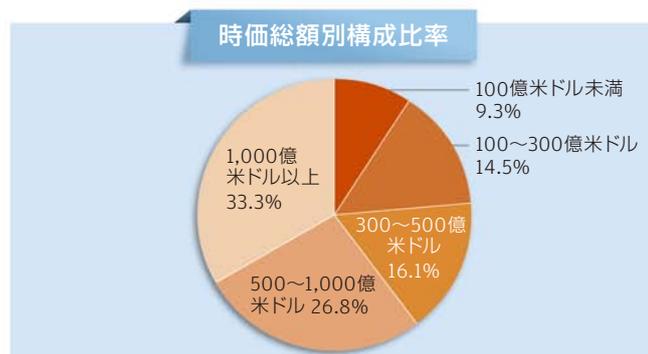
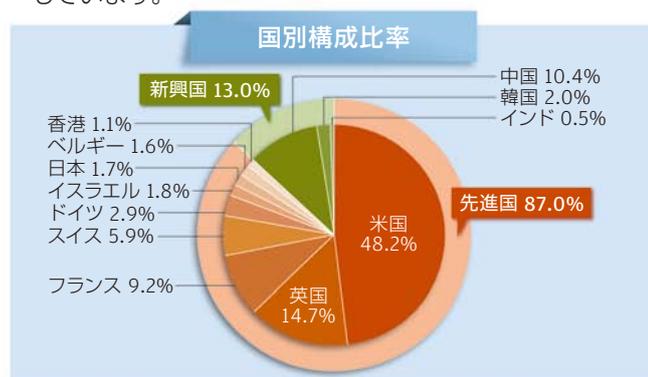
米国マイアミに本社を置く、世界最大級の客船会社。世界最大の客船を所有。  
(2014年3月現在)



各種資料をもとにJPモルガン・アセット・マネジメント(株)作成 写真はイメージです。  
上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したものではありません。また当ファンドおよび投資先ファンドにおいて必ず投資するものではありません。

## 投資先ファンド「グローバル株式ファンド」のご紹介

- 市場環境に応じて運用チームが注目している投資テーマは変わりますが、現在は、「米国の景気回復」や医療技術の進歩、高齢化に伴う医療の需要拡大に着目し「ヘルスケア」を主な投資テーマと考えています。
- また、環境の変化や時代の流れに応じた経営戦略により、進化を遂げる「独自の成長ストーリー」を持つ企業にも注目をしています。



2014年3月末現在  
ベンチマークはMSCI ACWI (MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス) (税引後配当込み) 比率は組入資産を100%として計算しています。  
国・業種別はMSCI分類に基づき記載しています(業種はMSCIセクター10分類)。  
出所:「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループ、FactSet  
当該ファンドは外国籍であり、日本での取扱いはありません。



## 「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループについて

「JPモルガン・アセット・マネジメント」グループは、世界最大級の金融持株会社であるJPモルガン・チェース・アンド・カンパニー傘下の資産運用部門です。



約140年にわたる歴史を持ち、  
高い運用実績を誇る約400もの運用戦略を世界の投資家の皆さまに  
ご提供しています。



世界30カ国以上に拠点

運用資産は約168兆円を誇り  
世界最大級

約800名の  
運用プロフェッショナル

2013年12月末現在（運用資産は2013年12月末の為替相場により円換算）

## ファンドの主なリスク

ファンドは、投資先ファンドを通じて主に国内外の株式に投資しますので、以下のような要因の影響により基準価額が変動し、下落した場合は、損失を被ることがあります。下記は、ファンドにおける基準価額の変動要因のすべてではなく、他の要因も影響することがあります。

### ◎ 株価変動リスク

株式の価格は、政治・経済情勢、発行会社の業績・財務状況の変化、市場における需給・流動性による影響を受け、変動することがあります。ファンドでは中小型株式に投資することがありますが、中小型株式は大型株式に比べ、株価がより大幅に変動することがあります。

### ◎ 為替変動リスク

ファンドは、為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動により投資資産の価値が変動します。

### ◎ カントリーリスク

新興国に投資した場合は以下のようなリスクがあり、その影響を受け投資資産の価値が変動する可能性があります。

- 先進国と比較して一般的に政治、経済、社会情勢等が不安定・脆弱な面があり、有価証券や通貨の価格に大きく影響する可能性があります。
  - 有価証券・通貨市場の規模が小さく流動性が低いため、有価証券・通貨の価格変動が大きくなる場合があります。
  - 先進国と比較して法規制の制度や社会基盤が未整備で、情報開示の基準や証券決済の仕組みが異なること、政府当局による一方的な規制導入もあることから、予期しない運用上の制約を受けることがあります。
  - 税制が先進国と異なる面がある場合や、一方的な税制の変更や新税制の適用がある場合があります。
- 新興国とは、国内経済の成長過程にあると判断される国をいいます。

### ◎ 流動性リスク

市場取引量の急激な増大、市場規模の縮小、市場の混乱の影響を受け、有価証券の注文が成立しないこと、売買が成立しても注文時に想定していた価格と大きく異なることがあります。ファンドでは中小型株式に投資することがありますが、中小型株式は大型株式に比べ、市場での売買高が少ないことがあり、そのような状況に陥る可能性が高くなる場合があります。

### ◎ デリバティブ取引のリスク

ファンドは、デリバティブ取引を用いる場合があります。デリバティブ取引は、その他の投資手段と比較して、株価等の変動に対してより大きく価格が変動・下落することがあります。

ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。  
投資信託は元本保証のない金融商品です。投資信託は預貯金と異なります。

## ご注意していただきたい事項について

継続申込期間中、委託会社が指定する日には、購入・換金の申込みの受付は行いません。

## 委託会社、その他の関係法人

- 委託会社 JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(設定・運用等)
- 受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社(信託財産の管理等)
- 販売会社 委託会社までお問い合わせください。 [www.jpmorganasset.co.jp](http://www.jpmorganasset.co.jp)  
(受益権の募集の取扱い等、目論見書の入手先)

本資料で使用している指数について

- MSCIの各インデックスは、MSCI Inc.が発表しています。同インデックスに関する情報の確実性および完結性をMSCI Inc.は何ら保証するものではありません。著作権はMSCI Inc.に帰属しています。

## ファンドの諸費用について

### 直接的に負担する費用

- 購入時手数料 手数料率は3.78%(税抜3.50%)を上限とします。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
(購入時手数料=購入価額×購入口数×手数料率(税込))  
自動けいぞく投資コースにおいて収益分配金を再投資する場合は、無手数料とします。
- 信託財産留保額 かかりません。

### 信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用 (信託報酬) 純資産総額に対して年率1.1124%(税抜1.03%)
- 投資先ファンドの運用管理費用 投資先ファンドの純資産総額に対して以下の費用がかかります。  
グローバル株式ファンド:年率0.60% ※消費税等はかかりません。  
マネーパブル・ファンド:年率0.1026%(税抜0.095%)
- 実質的な負担(概算) 純資産総額に対して年率1.71%程度(税抜1.63%程度)  
グローバル株式ファンドに純資産総額の99.9%を投資した場合のもので、投資先ファンドの組入比率により、実際の負担と異なる場合があります。
- その他の費用・手数料
  - 有価証券の取引等にかかる費用\*
  - 外貨建資産の保管費用\*
  - 信託財産に関する租税\*
  - 信託事務の処理に関する諸費用、その他ファンドの運用上必要な費用\*
  - 原則として、ファンドの目論見書の印刷に要する実費相当額\*を、信託財産に日々計上します。●グローバル株式ファンドにおいては、事務管理費用が同ファンド内で実費でかかります。ただし、同ファンドの純資産総額に対して年率0.16%を上限とします。●純資産総額に対して年率0.0216%(税抜0.02%)をファンド監査費用とみなします。ただし、年間324万円(税抜300万円)を上限とします。

\*ファンドの運用状況、保有銘柄、投資比率等により変動し、また銘柄ごとに種類、金額および計算方法が異なりその概要を適切に記載することが困難なことから、具体的に記載していません。また、目論見書の印刷に要する実費相当額は、実際にかかる費用が目論見書ごとに異なることから、具体的に記載していません。さらに、その合計額は、受益者がファンドの受益権を保有する期間その他の要因により変動し、表示することができないことから、記載していません。

費用等の合計額は、ファンドの保有期間等により変動し、表示することができないことから、記載していません。

## お申込みメモ

- 信託設定日 平成26年6月30日
- 信託期間 平成26年6月30日から平成36年6月26日(休業日の場合は翌営業日)まで
- 決算日 毎年6月26日(休業日の場合は翌営業日)です。
- 収益分配 毎年1回の決算時に委託会社が分配額を決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- 購入の申込期間 当初申込期間:平成26年6月20日から平成26年6月27日まで  
継続申込期間:平成26年6月30日から
- 購入価額 当初申込期間:1口当たり1円とします。  
継続申込期間:購入申込日の翌営業日の基準価額とします。
- 購入単位 販売会社が定める単位とします。ただし、自動けいぞく投資コースにおいて収益分配金を再投資する場合は、1円以上1円単位とします。
- 換金価額 換金申込日の翌営業日の基準価額とします。換金時に手数料はかかりません。  
換金代金は、原則として換金申込日から起算して7営業日目から、販売会社においてお支払いいたします。
- 課税関係 (個人の場合) 課税上の取扱いは、「公募株式投資信託」となります。「公募株式投資信託」は税法上、少額投資非課税制度(愛称「NISA(ニーサ)」)\*の適用対象です。  
平成26年4月末現在、普通分配金が配当所得として、換金(解約)時および償還時の差益(譲渡益)が譲渡所得として、それぞれ20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率が適用され、課税されます。  
税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- 申込締切時間 原則として午後3時までとします。ただし、販売会社によっては受付時間が異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

\*少額投資非課税制度(愛称「NISA(ニーサ)」)をご利用の場合は、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設する等、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

## 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

本資料はJPモルガン・アセット・マネジメント株式会社(以下、「当社」という。))が作成したものです。当社は信頼性が高いとみなす情報等に基づいて本資料を作成しておりますが、当該情報が正確であることを保証するものではなく、当社は、本資料に記載された情報を使用することによりお客さまが投資運用を行った結果被った損害を補償いたしません。本資料に記載された意見・見通しは表記時点での当社および当社グループの判断を反映したものであり、将来の市場環境の変動や、当該意見・見通しの実現を保証するものではありません。また、当該意見・見通しは将来予告なしに変更されることがあります。本資料は、当社が設定・運用する投資信託について説明するものであり、その他の有価証券の勧誘を目的とするものではありません。また、当社が当該投資信託の販売会社として直接説明するために作成したものではありません。投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負います。過去の運用成績は将来の運用成果を保証するものではありません。投資信託は預金および保険ではありません。投資信託は、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。投資信託を証券会社(第一種金融商品取引業者を指します。)以外でご購入いただいた場合、投資者保護基金の保護の対象ではありません。投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。取得のお申込みの際は投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡ししますので必ずお受け取りの上、内容をご確認ください。最終的な投資判断は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。